

# 令和2年度 園の自己評価

【幼保連携型認定こども園】

社会福祉法人 仁川会  
富士見ヶ丘認定こども園

基本理念	実体験を大切に「本物」を見て・触れて・知ることを通じ、感性豊かな心とたくましい身体をつくっていく
保育目標	健康・人間関係・環境・言葉・表現を通じて、創造性・社会性を養い、豊かな人間の育成・助長すること

## 本年度の目標

こどもたちが安心・安全な環境の中で、様々な事に良い刺激を受けながら心と体を動かし、健康に生活する。  
自己研鑽に努め、常に自分や組織を高めていける職員育成に努める。  
地域に認められ、信頼されるこども園を目指す。

## 自己評価

評価の観点	評価項目	達成状況	状況
保育の計画	(1)保育課程の編成	B	こども主体の保育・こどもの視点を常に意識するように、保育の提供を見据えた。
	(2)指導計画の作成と展開	B	長期的な計画は年間・月案計画によって見直しを持ち、短期的な計画は週案としている。 記録をすることで保育者自身の保育省察の機会となっている
	(3)発達過程に応じた保育	B	未満児は計画に沿いながら丁寧に関わることを心がけた。 以上児は、みんなで取り組む課題や活動・異年齢交流により、主体的な活動の促しを意識した。
	(4)特別支援保育の対応	B	特別支援が必要な児には、身辺自立促進と共に、無理なく集団に入れるように配慮している。
	(5)関係機関との連携	B	小学校とは、就学前の申し送りのみの連携となってしまう。 保護者・地域へは、連絡ノート・園だより・HP・SNS 等を利用し、情報公開を心がけた。

	(1)こどもの健康支援	健康状態等の把握と疾病等への対応	B	クラス担任と看護師が連携しながら早期対応を心がけた。感染症に対しては、随時情報を提供して園での蔓延防止に努めた。
健康及び安全	(2)環境及び衛生管理・安全管理及び業務の改善	設備・用具などの衛生管理 安全点検・避難訓練等の実施	B	寒暖や湿度等を考慮し、毎日の清掃で快適な保育環境の提供、安全点検・避難訓練を実施して安心で安全な園環境を心がけた。
	(3)食育の推進	食育計画の作成と実施 アレルギーなどへの対応	B	食育計画を作成して計画的に意識化し取り組めた。 アレルギー対応は保護者と連携を取りながら個別に対応した。
	(1)施設長の責務	法令順守・職員指導・研修への 促し	B	法令については消防関係・福祉関係・学校関係・保険関係の各遵守を心がけた。職員指導については会議等で周知、個別指導を実施。研修では、法人内の合同会議・自主参加の保育研修等を織り交ぜて研修機会の確保に努めた。
職員の資質向上	(2)自己研鑽	研修等への積極的な参加	B	積極的に研修に参加することができる。 キャリアアップ研修も多くの職員が参加した。
	(3)目標管理	1年間の目標設定と振り返り	B	クラスの目標・個人の目標・園全体の目標を掲げてその達成度を見るために年度末に振り返りを行う。

達成状況

A 良好 B おおむね良好 C やや改善

D 要改善



社会福祉法人 仁川会  
理事長 川又 幸夫